

当社コメント

(敦賀発電所敷地内破砕帯に関する原子力規制委員会の決定について)

本日、原子力規制委員会の定例会合において、敦賀発電所敷地内破砕帯に関する今後の対応方針が検討され、有識者による現地調査を再度行うとともに、改めて審議を行うことが決定された。

当社は、7月11日に、敷地内破砕帯は活断層ではないことを一層明確に立証した調査報告書を提出するとともに、8月30日の追加調査報告に関する検討会合における説明、11月26日、27日の原子力規制庁事務局による現地確認に真摯に対応してきた。当社としては、今後実施される現地調査及び審議において、当社の調査結果及び現場をご覧頂ければ、敷地内破砕帯が活断層ではないことをご確認頂けるものと確信している。

なお、これまでも再三に亘りお願いしてきたように、本件の審議に当たっては、具体的な判断基準を予め明確にしたうえで具体的な根拠を示して評価して頂くとともに、当社も参加し十分な議論を行う場を設けて頂くよう、重ねて要請したいと考えている。

以 上